

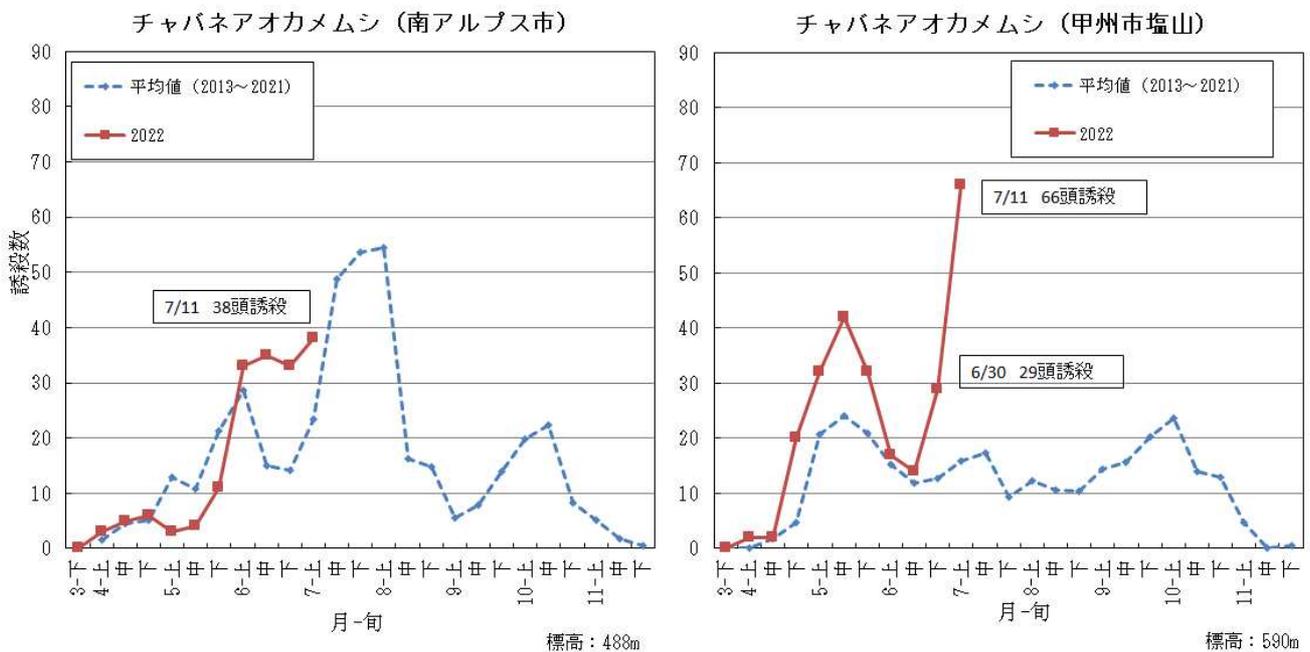
防除所情報第4号

令和4年7月14日
山梨県病害虫防除所

【果樹カメムシ類の発生状況と防除対策について】

[発生状況]

- (1) 定点調査ほ場におけるフェロモントラップへのチャバネアオカメムシの誘殺数は、平年と比べ多くなっており、特に峡東地域で大幅に増加している（図1）。
- (2) 前年、秋季におけるフェロモントラップへの誘殺数は多く、越冬個体数は多いとみられる。
- (3) 本年は、カメムシの餌となるスギ・ヒノキの球果の形成量が少ない（山梨県森林総合研究所）ことから、例年に比べ果樹園への飛来が多くなっているものと考えられる。



(山梨県病害虫防除所調べ)

図1 フェロモントラップにおけるチャバネアオカメムシ誘殺数の推移

[防除対策]

- (1) 果樹カメムシ類は山間部から果樹園へ飛来するので、夕方～夜間及び早朝に園を見回り発生状況を確認する。
- (2) 飛来量は地域やほ場によって差があるので、発生状況に応じて地域ごとに一斉防除を行う。
- (3) 山間部やスギ・ヒノキ林に近接する果樹園では、被害が多くなる傾向がある。
- (4) 薬剤散布は、カメムシの動きの鈍い早朝または果樹園への飛来の多い夕方に行うと効果的である。
- (5) 防除薬剤は表1を参照する。薬剤散布にあたっては、使用基準を厳守し、飛散防止対策を徹底する。
- (6) 合成ピレスロイド剤は、果樹カメムシ類に効果が高いが、天敵に及ぼす影響も大きく、多用するとカイガラムシ類やハダニ類の多発生を招く恐れがあるので過度の使用は避ける。

表1 カメムシ類の主な防除薬剤

(令和4年6月現在)

分類	R A C	薬剤名	適用作物名						
			希釈倍率、使用時期/本剤の使用回数						
			スモモ	モモ	ネクタリン	ブドウ	カキ	ナシ	リンゴ
ネオニコチノイド系	4A	スタークル/ アルバリン顆粒水溶剤	2,000倍 前日まで/3 回以内	2,000倍 前日まで/3 回以内	2,000倍 前日まで/3 回以内	2,000倍 前日まで/3 回以内	2,000倍 前日まで/3 回以内	2,000倍 前日まで/3 回以内	2,000倍 前日まで/3 回以内
合成ピレスロイド系	3A	テルスターフロアブル	※※	3,000倍 前日まで/2 回以内	3,000倍 前日まで/2 回以内	※※	3,000倍 3日前まで/ 2回以内	3,000倍 前日まで/2 回以内	3,000倍 前日まで/1 回以内
	3A	アディオン乳剤	-	2,000倍 7日前まで/ 6回以内	2,000倍 7日前まで/ 3回以内	-	2,000倍 7日前まで/ 5回以内	2,000倍 前日まで/2 回以内	-

※スモモなど果実汚染、果粉溶脱が懸念される樹種では薬剤選択には注意する。

※※作目登録はあるが、適用病害虫としての登録がない。



山梨

チャパネアオカメムシ

クサギカメムシ

ツヤアオカメムシ

県で発生する主な果樹カメムシ類



シャインマスカットの被害(吸汁痕)



モモの被害(吸汁痕)

くぼんだり、果肉がスポンジ状に変質する